

枚方市と自治労枚方市職員関係労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和6年(2024年)11月6日(水) 午後6時30分～午後7時30分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約20名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、
教育政策課長、上下水道総務課長、市立ひらかた病院総務課長、
書記(人事課・職員課 課長代理)
4. 課 題 「2024 賃金確定・秋期年末総合生活改善に関わる要求書」に基づく交渉(1回目)

<交渉内容要旨>

I. 人事院勧告について

組 合	市
・ 本市の給与改定については、これまでから人事院勧告の準拠を基本としてきたが、本年についても、これまで同様、勧告に準拠する内容で実施するとの姿勢に変わりはないか。 ・ 改定の実施時期は、正職員と同様に全職種4月に遡及すべきであるが、当局の見解を聞く。	・ これまでから人事院勧告の内容に準じた取り扱いを基本としているが、本年の勧告は昨年を上回る大幅なプラス改定であり、現段階では結論は出ていない。次回の交渉時に回答を示せるよう検討を進めていく。 ・ 人事院勧告の実施の判断と併せて検討していく。

II. 初任給基準について

組 合	市
・ 初任給基準の見直しについて、人材確保の観点から引き下げるべきではないと考えるが、どの程度引き下げるのか。また、昇任のタイミングに影響は及ぼすのか。	・ 国家公務員を大きく上回る水準となっており、国の基準を基本として検討している。また、昇任要件の見直しも精査中である。

III. 係長・監督の処遇について

組 合	市
・ 今年度より係制が導入され、係を統括する係長や監督に業務マネジメントが任されることになったが処遇が変わっておらず、モチベーションの維持が困難となっている。処遇改善が必要と考えるが、当局の見解を聞く。 ・ 係を統括する係長と、課長代理の線引きをしっかりとしてほしい。	・ まずは現状をしっかりと把握し、各職制の役割や責任なども踏まえた上で、改めて検討が必要と考えている。 ・ 各職場の実態を把握し、課題解決を図っていく。

IV. 現業職員の採用について

組 合	市
5か年計画が終了しているが、作業員の採用は無かった。現業職場では、職員の高年齢化が進み、年齢構成が歪になっている。知識や技術の継承の観点から、そろそろ新規採用を再開してもらいたい。本交渉において採用の実施について示してほしいと考えているが、現業職の採用について見解を聞く。	年齢構成や技術の継承といった観点は十分考慮すべきと考えている。計画が終了したことに加え、各職場の状況や行革プランの進捗等を精査しつつ、その上でさらなる配置が必要と判断すれば採用試験を実施していくとの考えに変わりはない。